

Application for Participation

Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

「地域の環境を守りたいプロジェクト」

～なまず池を守り、地域へ還元～

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution

(please use extra sheets if necessary)

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校では、これまで校区内にある「なまず池」との関わりを中心として、集めた落ち葉など資源のリサイクルを展開し、地域に肥料として還元するなど、地域に根ざした教育活動を実践してきた。そこで、さらに地域とともに地域から学ぶ持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)を推進しようと考えた。

約15年前、なまず池周辺の環境改善を目ざして、生徒会執行部が全校生徒から有志を募り、なまず池の清掃活動は始まった。この活動は「地域との絆を深める場」「地域の役に立てる機会」という意識が生徒の中にも浸透し、「なまず池を掃除したい＝なま隊」として親しみを込めて呼ばれ継続されている。年々参加人数も増え、なまず池と校内の清掃ボランティアの2か所に分かれて実施するほどの規模になっている。また、ともに活動を続けてきた「なまず池を守る会」の地域ボランティアの方からも、温かい言葉をいただくほどの充実した活動になっている。

また、なま隊の発展活動として、緑化委員会が中心となってなまず池の清掃の際に集めた落ち葉や雑草を堆肥に変え、その堆肥を使ってプランターで花を育て、それを学校・地域へ設置している。年2回行われている「なま隊」の活動を短期的に終わらせるのではなく、1つのサイクルとして広がる活動にしていき、最終的に南部校区を縦断する渥美線(私鉄)沿線やこども110番の家にプランターを設置するなどして、「なま隊」を地域が誇り、地域から環境問題を発信できる活動にしたい。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDへの取り組みを環境保全を目的に活動していくことにした。身近な地域の環境保全活動を中学校から行うことで、環境問題への関心を深め、解決策を主体的に考え実践しようという姿勢を育みたい。学習を深めていくことで、地域の発展と環境の可能性、また人のつながりや社会の一員としての価値観を見出し、共有する基礎的な能力を養うことができると考えている。

また、なま隊だけでなく、ペットボトルキャップの回収などにも積極的に取り組み、世界の子供たちを取り巻く環境にも目を向けさせている。ESD活動を、特別活動だけではなく各教科とも関連させて取り組むことで、生徒の環境保全・環境改善の実践力さらに深めていきたい。

そのために本校では、以下の2つの活動で以下のような目標を掲げる。

(1) 「なまず池」の環境保全をする活動

- ・ 毎年2回地域の方、「なまず池を守る会」とともに行う「なま隊」
- ・ 緑化委員となま隊で行う「堆肥づくり」

生徒、教員、地域住民が協力して環境保全に取り組むことで、地域の誇りや愛着心を育み、地域全体へ環境を保全への注意を喚起し、地域に向かって環境美化の意識を発信する。

(2) 定期的なリサイクル運動・緑化活動を地域へ発信する活動

- ・ 緑化委員による年2回の「花ポット活動」

- ・ 福祉委員による「ペットボトルキャップ回収運動」
なま隊で集めた落ち葉で作った堆肥で作った「花ポット」を地域のこども110番の家に配布し、地域の方への感謝の気持ちを深める。また、ペットボトルキャップを校内全体で行うことで、資源のリサイクル意識の向上や世界の貧困問題への理解や問題意識をもつことができる。

(3) 地域の方との交流

- ・ 弥生王寿園への絵手紙交流
地域のお年寄りに絵手紙を送り交流をすることで、人とのかかわり、つながりを重視していく姿勢を育む。

Execution (プロジェクトの実施)

本中学校では、前述のとおり ESD の目的を「環境保全」の観点から、自分たちが住む地域の環境についての関心を深めることが、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であるにとらえ学習を進める。

南部中学校区には戦後、愛知大学が設立され、校区内に小・中・高・大学が存在するようになり、学生たちで賑わいを見せてきた。学校、家庭、地域が一体となり子どもたちを育て、学園の街として発展を遂げた。地域の方々の協力なくしては、この発展はなかったと言ってもよい。今自分たちの住むその校区が直面している環境問題に興味関心をもち、解決のための手立てを生徒たち自ら考え、実践していくことで、地域の一員であることを自覚できる生徒の育成ができると考えている。また、地域との連携を大切にしながら活動を進めて行くことで、地域との「つながり」を大切にし、協調して共生しようとする生徒を育てることができると考えた。

そのために、次の地域学習に関する活動を行事等に関連づけて進めるために、ESD カレンダーを作成して実践している。

○各学年と地域とのかかわり

- ・ 1年生：なまず池に生息する昆虫や植物
- ・ 2年生：なまず池の今昔
- ・ 3年生：なまず池の水質検査

○「なまず池」の環境保全をする活動

- ・ 全学年生徒による「なま隊」活動の実施
- ・ 緑化委員、なま隊による「堆肥づくり」

○定期的なりサイクル運動・緑化活動を地域へ発信する活動

- ・ 緑化委員による「花ポット活動」
- ・ 福祉委員による「エコキャップ回収運動」「王寿園への絵手紙交流」

(1) 活動を進めるための ESD カレンダー (平成25年度 3年生の例)

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理科			水質検査		水質検査			水質検査		水質検査	
英語		Fair Trade Chocolate									
総合					世界の子どもたちは今 ～ユニセフの資料をもとに～						
行事			花ポット 活動	王寿園へ の絵手紙	なま隊					なま隊	

(2) 「なまず池」の環境保全をする活動 (なま隊)



池の掃除, そして落ち葉や枯れ枝などを回収します



地域の方と一緒に活動します



動植物も住みやすいなまず池を目指します

(3) 定期的なりサイクル運動・緑化活動を
地域へ発信する活動



「なま隊」で集めた落ち葉などを堆肥にし, 緑化委員がこども110番の家に届けます

(4) 地域の方との交流



福祉委員を中心に弥生王寿園 (老人福祉施設) のお年寄りに暑中見舞いを送ります
(平成 24 年度福祉委員作成)

Type of materials to be used (使用する教材)

「中学校 キャリア教育の手引き」

文部科学省 平成23年3月 (WEB版)

「豊橋市教育振興基本計画」

豊橋市教育委員会 平成23年

「キャリア教育推進の手引き」「小中学校9年間を見通したキャリア教育」

愛知県教育委員会義務教育課

「キャリア教育ノート」夢を見つけ夢をかなえる航海ノート

愛知県教育委員会

Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

生徒の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・ 生徒の活動の様子や、活動後の振り返りカードや感想から把握する。
- ・ 学習した後に、まとめ新聞づくりや調べたことの発表会などを行い、その取り組みを評価する。

上記の評価と共に、さらに下記のことを実施して、ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・ 「学校教育に関する改善検討アンケート」を生徒、保護者、教職員、地域の方々を対象に実施する。また、その結果を学校評議委員に伝え、アドバイスをいただく機会を設ける。
- ・ 生徒の実態や地域の特色にそったカリキュラムになるように、今年度の実践を基にESDカレンダーを見直し、地域とともに生き地域のために活動ができる生徒の育成をするための具体的な活動内容を改善していく。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

Date (日付)

校長, 豊橋市立南部中学校
Principal's name (校長名 (※直筆))
Position, (役職) Institution's name (学校名)

※学校名はToyohashi Nanbu Junior High Schoolで統一する。